

ぎかり



2026.4.17

小国町議会だより 第168号

私の心が
カレンダーになったよ!



スマホ

からもご覧
いただけます!



- 3月定例会
- 令和8年度当初予算
全員一致可決!!
- 一般質問4名登壇

議会だより リニューアル!
表紙、裏面がカラーに!!

裏表紙に詳しくインタビュー掲載しています。御覧ください!

令和8年度 全予算可決

「選ばれる小国町」へ



結婚・妊娠・出産・子育て 総合的に支援

「白い森幸せ応援パッケージ」の創設

町長は少子化への対応を最重要課題と捉え「小国に住んでいるからこそ、安心して産み、育てられる」という指針を示した。

- 結婚祝い金…………… 10万円
- 出産支援金…………… 10万円
- 妊婦への支援給付金…………… 10万円
- 出産祝い金…………… 40万円
- 小学校入学時就学祝い金… 50万円

合計120万円

- 福祉職転入定住支援事業
…… 5万円/月 5年間支援する



主な条例改定

● 小国町空家等の適正管理に関する条例の設定について

要旨 空き家等対策の推進を図る

● 小国町犯罪被害者等支援条例の設定について

要旨 犯罪被害者が安心して暮らしていけるよう地域で支える意識の醸成を図る

● 小国町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について

要旨 通園していない児童を一定時間保育してもらえる

● 小国町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

要旨 子ども・子育て支援金を負担

令和7年度 3月定例会

会期
3月5日～17日

- 令和7年度
一般会計・特別会計
補正予算 …… 5件
- 令和8年度
一般会計・特別会計
予算 …… 11件
- 条例案件 …… 13件
- 請負契約の一部変更
(次期総合センター)
…………… 1件
- 小国町過疎地域持
続的発展計画策定
- 発議 …… 1件
- 一般質問は4名が登
壇し町政を質した

2号議案

- 令和7年度一般会計
補正予算 …… 1件
- 第15次小国町町有
林森林経営計画策定
- 人事案件 …… 1件
- 発議 …… 2件

小学校給食費無償化

3、577万円

クマ対策予算拡充

有害鳥獣被害対策事業

●活動謝礼

2、200万円

↓8、000万円

- トランシーバー・防護盾・電気柵・狩猟免許一部助成・果樹伐採

996万円

福祉の充実

福祉タクシー利用券

交付枚数約4倍に

除排雪業務

4、500万円

交通手段確保

町営バス 更新

1台 720万円

スクールバス 更新

2台 2、500万円

猫の不妊去勢手術への補助

5万円

空き家問題解決に向けて

特定空き家の解体処分補助

上限50万円

センター跡地利用にかかると設計積算

1、100万円

発議 全員賛成

森林環境の整備によるクマ被害防止対策に関する意見書の提出について

提案者

文教産建常任委員長

問 宮 尚 江

要旨

- 1 生物多様性を育む森林機能の再生とクマの食糧の確保
- 2 人里への侵入を防ぐ緩衝帯整備への継続的な支援
- 3 地元林業事業者等への技術的支援と人材育成

を求める意見書を内閣総理大臣他関係閣僚に提出するもの

人事案件

人権擁護委員

伊藤 正俊 氏
(小国町叶水)

臨時議会

主な補正予算

令和8年1月14日

第1回臨時議会

●物価高騰支援給付

▼9、450万円

●物価高対応子育て応援手当

▼2、000万円

●内容 町民一人当たり1万5千円の現金給付、子育て世帯への給付

●地域経済活性化支援事業

▼1、000万円

●内容 キャッシュレスでの買い物補助、ポイント付与

令和8年2月16日

第2回臨時議会

●衆議院総選挙費

▼1、647万9千円

●除排雪業務

▼2億800万円

令和8年度各会計予算 全会一致で可決



渡邊重信議員を委員長とし議長を除く9名による予算審査特別委員会を設置し審議にあたった。

コンビニ交付サービス 基盤整備事業

Q コンビニで交付できる証明書の種類、および交付開始時期はいつからか。

A 住民票、印鑑証明書、各種税証明書を発行する。(戸籍関係の証明はシステムが異なるため今回の事業には対応しない。) 来年1月の運用開始を目指す。

結婚支援業務

Q 結婚祝い金の10万円では年齢の制限や再婚などの制約はあるのか。

A 今のところ特段の制限は想定していないが、詳細の制度設計は今後整理する。

内容は町内在住の未婚者や企業の従業員などに対する出会いの場の創出、成婚までの支援を目指す。

具体的には面談による相談の受付、お見合いの同行、マッチングイベントの開催などを検討している。

ワカモノプロジェクト 補助金

Q 事業の目標は。

A 若者がまちづくりや地域づくりに関わるきっかけづくりとして取り組み、それを基盤としながら地域の活性化に繋がっていくことを目指す。

危険空家等除却支援 事業補助金

Q 特定危険空き家解体費用50万円は、一戸分なのか。その判定の過程は。

A 一戸につき上限を50万円とする。条例制定に伴い関係機関の有識者によって構成される空家対策協議会を設置し、

そこで協議判定される。主に外壁等、目視で損傷の激しい家屋が優先される。

猫の不妊・去勢手術費補助金

Q 予算の5万円は何頭分を想定しているのか。

A 予算内での執行を想定し、オス5千円・メス1万円を補助する。

動物愛護の観点と、野良猫、多頭飼育崩壊等による近隣への迷惑を少しでも未然に防ぐものである。

自主防災組織設立等補助

Q 自主防災組織への5万円の予算は、何を期待するものか。

A 地域で自発的に組織運営してもらおうのが理想。組織の防災訓練費や研修費に役立ててほ

しい。

個別避難計画作成委託

Q 昨年度8件という実績を踏まえ、避難支援者の確保という課題をどう捉えていくのか。

A 避難支援者の確保は全国的課題でもある。自主防災組織や、消防団との連携のもと円滑な避難体制を構築したい。

地域商業サービス支援事業費

Q 支援事業者は生協も含まれているのか。

A 買い物困難者対策として、アスモ内旧スーパーの一角を借用し、総合食品販売事業を展開している「小国町買い物支援事業運営グループ」に対する支援であり、生協は含まれていない。

地域経済活性化支援事業

Q 今年はキャッシュレス割引を2回行うとのことだが、町内の人が多く使えるような方法を考えているのか。

A 4月に実施するものは、auアプリでの周知は行わない。町内の方が使いやすいように全戸配布するチラシ、利用店舗に掲示するポスターからクーポンを入手する仕組みを準備している。

特産品等販路開拓業務

Q 山菜を「採る」、「買う(集める)」、「売る」というシステム作りが重要と思うが、山菜を買ってくれるところがないという声は聞かれていますか。令和8年度はどのようなものか。

A 山菜を「採る」、「買う(集める)」、「売る」というシステム作りが重要と思うが、山菜を買ってくれるところがないという声は聞かれています。令和8年度はどのようなものか。

A 今春は、コープ桜田店で5、6月に町内事業者による合同販売会、加えてコープ山形市内の4店舗で5月から週1回程度の卸販売を予定しており、販売会等を実施する事業者において集荷、出荷をしていただけるものと考えている。

鳥獣被害対策実施隊報酬

Q 出勤報酬を増額したとのことだが、出勤回数の見込みは。

A 有害捕獲の出勤報酬を、出勤1回あたりクマ・イノシシ8千円、その他は2千円に増額する。隊員の出勤人数はケースによるが、例年の実績からクマ20回、イノシシ9回、サル14回の出勤を見込んでいる。

Q 有害鳥獣の捕獲は危険が伴うが、保険

等の体制はどうなっているか。

A 有害捕獲時に加え、緊急銃猟の物損事故に対応した保険に新たに加入することとし、隊員90名で81万円を措置している。

福祉職転入定住支援事業

Q どのような内容か。

A 町内福祉施設の人材確保を目的としている。保育士又は介護士等として町外者が本町に転入、就職し住宅を購入、賃借した場合5万円を5年間支給する事業である。

Q 5年間経過する間にはないのか。

A 制度上、対象となつた方が途中で支給

がなくなるとは考えていない。

**木材利用促進助成
住宅リフォーム助成**

Q 令和7年度、木材利用促進助成が0件、住宅リフォーム助成が17件であった。件数減少の理由と、木材利用促進を今後どのように周知していくのか。

A 木材利用関係の助成については、ペレットストーブの燃焼器も同じ枠となり令和7年度は4件、木材利用の補助は0件である。リフォーム全体の件数減少に関しては、町内の大工さんの高齢化による廃業も原因である。現在は直接当課への問い合わせも増えている。

**平和橋添架緊急
給水管布設工事**

Q 大滝の簡易水道と上水道の配水管の接続の目的は。

A 上水道も簡易水道も認可変更を行わず不測の事態に備えた防災対策のような位置づけで補助事業として実施する。湯水期に、一定期間開けておいた方が水圧の維持に効果があると思われる。



大滝簡易水道配水池

**スクールバス運行
業務**

Q 部活動の地域展開においては、生徒に平等にクラブ活動に参加できるような交通手段を考えるべき。町営バス利用も含め、横断的に運行を検討できないか。



バス運行を「地域展開」に

A 原則として、土日の地域クラブ活動と平日の部活動は切り離して行っていく。土日は町内におけるスクールバス送迎は行わない。町外活動

については、家庭の負担を考えバス利用の検討を進めている。

**おぐに開発
総合センター
解体跡地利用**

Q 入浴施設を含めた跡地利用について伺う。

A 湯量や温度が低下しており、効率的な運営ができないため、別途検討していきたい。

あそびの広場拡充

Q 休日開催している健康管理センターの「あそびの広場」の今後の展開は。

A 令和8年度は、月2回の土曜日開催として、より利用しやすいようにする。保護者向けの子育て講座などを同時に開催して、子育て支援や保護者交流の場としての機能

を充実させていく。

病院の経営効率化

Q 一般会計から多額の繰り入れを行っている状況だが、改善等を伺いたい。

A 一部を紹介すると、不定期な検査を行っている患者に対して、患者の同意を得て骨密度検査、血液分析検査などを定期的に案内している。また、口腔内ケアや健康維持のため、治療後の患者に予防ケアの案内を実施している。



楽しさ広がるあそびの広場

予算総括質疑

問宮 尚江 議員

1 (条例)ひとり親等修学費について

問宮 積算根拠と、据え置き期間は。

健康福祉課長 昭和48年からの積算を根拠にしたものである。据え置き期間は今後検討する。

2 個別避難計画作成委託について

問宮 避難支援者の確保、福祉との連携、避難訓練実施まで活かせる計画か。

町民課長 支援者には近隣の方や消防団等の協力をお願いしたい。机上での避難経路の確認など福祉機関との連携で行っている。

3 現センター跡地における温泉施設について



9月まで延長 ミニスーパー

問宮 入浴施設に関する予算措置は。

町長 町民の方の要望が多いことは承知している。何らかの形で残して整備したい。まずは解体後の整理と考えている。

4 地域商業サービス支援事業について

問宮 町民にとつての買い物場、施設の動向は不安材料であるが、その対応はどうかしているか。

商業政策監 買い物困難者があつてはならないと管財人と協議した結果、ミニスーパーは半年間の延長となり9月まで稼働する。

予算審査特別委員会報告書【要旨】

令和8年度各会計予算11件については、次の意見を付して原案のとおり議決するものと決したので、小国町議会会議規則第41条の規定により報告する。

- 1 本町が抱える諸課題の根幹にある人口減少に焦点を当て、直接的な効果が期待される「白い森幸せ応援パッケージ」や、労働力不足の解消を目指す「福祉人材確保・移住促進に向けた各種居住関連の支援策」に多くの予算が計上されている点は評価できる。他自治体でも早くから取り組まれてきた分野であることを踏まえ、本町においても、より効果的な施策展開が図られることを期待する。
- 2 協同組合小国ショッピングセンターの自己破産により、アスモ内の店舗は厳しい状況に置かれており、破産管財人による整理手続きの動向を注視していく必要がある。こうした状況を踏まえ、中心市街地活性化計画に基づき、完成する新しい総合センターの賑わいを、中心商店街へ波及させるための有効な対策を講じるとともに、日々の買い物に不便を感じている方々への支援の継続を求める。
- 3 町民の安全を脅かすクマの出没は、緊急かつ重大な課題である。その最前線で活動している鳥獣被害対策実施隊の方々の負担が増大していることを踏まえ、出動報償が大きく増額されたことは評価に値する。今後も実施隊の活動状況が正確に把握され、危険性に見合った報酬・報償費が確保されるとともに、隊員の安全対策の一層の充実が図られることを望む。

令和8年3月16日

予算審査特別委員会 委員長 渡邊重信

小国町議会議長 安部春美 殿

町づくりを問う！

一般質問4名登壇



どなたでも傍聴できます
お気軽にお越しください！

間宮尚江議員

1. 森林環境譲与税による森林業振興策と所有者不明化が進む森林対応は
ねらい▶ 山林管理と所有者不明化の解決

小関和好議員

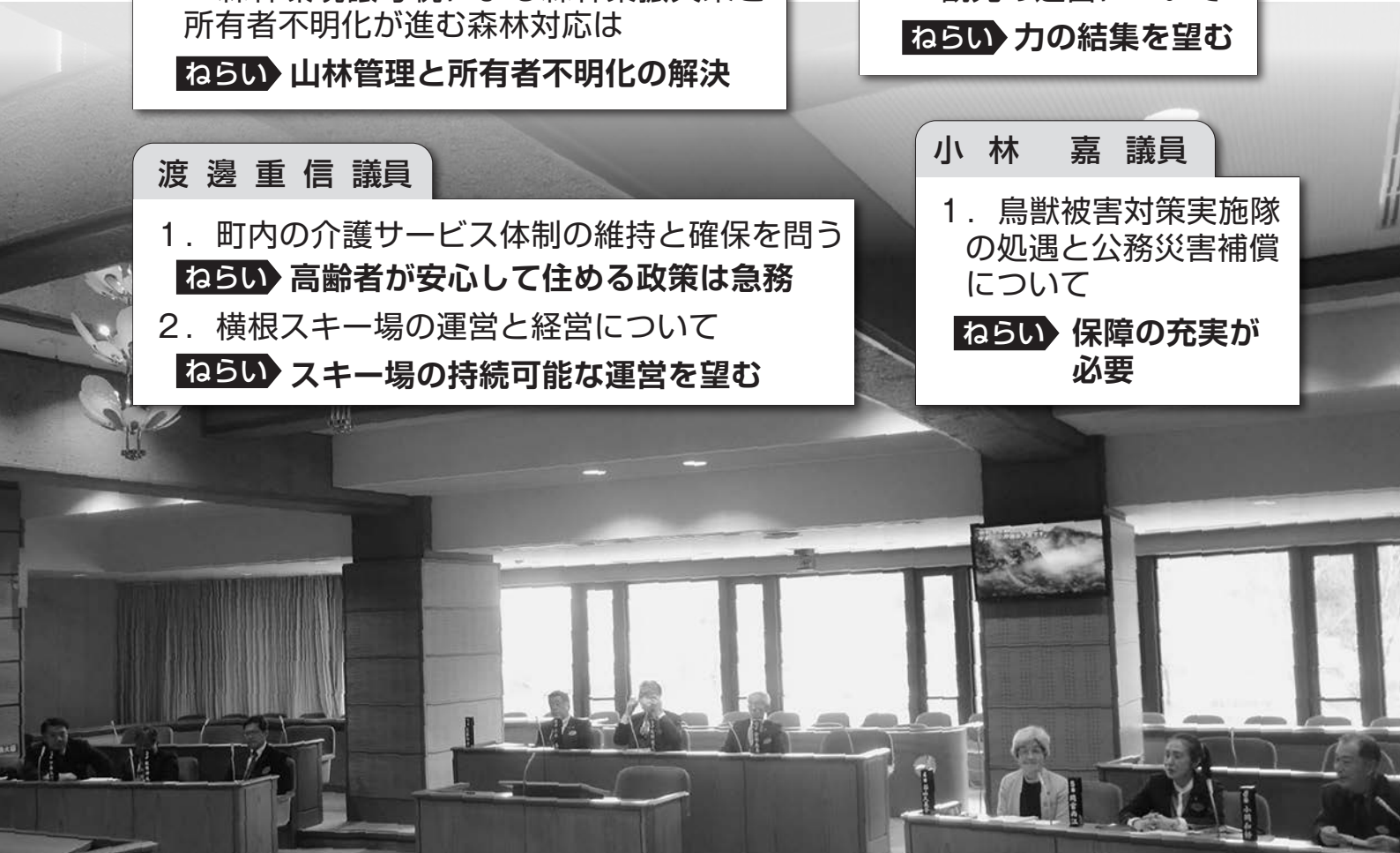
1. 観光の運営について
ねらい▶ 力の結集を望む

渡邊重信議員

1. 町内の介護サービス体制の維持と確保を問う
ねらい▶ 高齢者が安心して住める政策は急務
2. 横根スキー場の運営と経営について
ねらい▶ スキー場の持続可能な運営を望む

小林嘉議員

1. 鳥獣被害対策実施隊の処遇と公務災害補償について
ねらい▶ 保障の充実が必要



お茶をたてている写真はとてもよい
さらにカラー版でよかった

議会だより167号への

モニターさんの

感想

QRで本会議の録画映像を
いつでも見ることができる



一般質問への
町長の回答に
興味を持っている



議員発議について
関心を持った



書体がやさしく
フォント、白抜きなどが
整っていて読みやすい



議会議員と語る会を
継続してほしい



各記事の写真も
違和感がなくよい



一般質問

間宮尚江議員 ●まみや ひさえ



森林環境譲与税の活用で課題解決を

町長 計画的な

森林整備に繋げる

問 施業効率化の前提となる森林境界の明確化に譲与税を充てられないか。

答 譲与税を活用し航空レーザー測量に基づく森林境界図の整備を令和8年度までの二ヶ年でまとめる。机上での境界立ち合いが可能になる。

データにより大まかな境界が確認できるため、現地測量の多大な費用は想定していない。所有者への公開手法は今後ルールを整理する。

問 限界を迎える地区の森林管理を補完する仕組みや、所有者不明森林への対応は。

答 森林経営管理制度を活用し、収益性の低い小規模森林

を集約して面的な整備を行い、所有者が資産価値を実感できる環境を整えたい。

令和8年の法改正に伴う公告期間短縮や事務手続きの費用にも譲与税を活用し集約化を促進する。相続土地国庫帰属制度は情報収集に努める。

問 新規林業就業者の確保に向けた支援策や、施設（りふれ等）を活用した若者の学びの場提供への見解は。

答 機械導入支援に加え、町独自の奨学制度の創設等、今後検討していく。りふれ木工館を若者の実践の場として提供する提案は前向きに検討する。



森林整備を求める

小関和好議員 ●こせき かずよし



今後の観光運営体制は

町長 3組織統合の方向へ

問 昨年の6月補正予算で第3セクター等機能調査予算が承認されている。その調査結果の進捗と、今後の方針を伺う。

答 「おぐに白い森株式会社」「株式会社小国町地域総合商社」「小国町観光協会」の3組織の現状分析や、課題の抽出を行い、今後の果たすべき役割を再整理した。加えて、機能的・持続的な観光推進体制の基本的な指針を取りまとめた。

3組織の経営分析や現状整理を行った結果、長期的に持続することが見通せない環境にあることが明らかになり、抜本的な対策が急務であるとの方向性が示された。その結果、3組織を統合することが必要であると整理された。今後は、3組織の基本的な方向性が一致した場合、統合に向

けた事務を進めていく。尚、統合となれば、様々な課題を検討することになるため、1年から1年半かかるとの報告も受けている。

問 「道の駅」を含めた4組織が望ましいと考えるが。

答 今回対象とした3組織は、第3セクターや補助金交付団体である。「道の駅」は、民間の組織なので、今回のような再編等の検討には、一定の段階を経てから協議していくべきと考える。



道の駅は「まち」の顔

渡邊重信 議員 ●わたなへ しげのぶ●



**介護サービス体制の維持と
介護員の確保が急務では**

町長 「福祉転入定住支援事業」
を行う。

問 高齢化が進む中、施設の運営、在宅介護を行うにも、介護従事者の確保、育成は喫緊の課題ではないか。

答 ケアマネジャーの資格取得や研修受講費の助成を行っている。また、介護職員として町内に就職する方への住宅購入・賃貸への奨励金として「福祉職転入定住支援事業」を新たに行う。

問 将来に向けた包括システムの構築は。

答 広域的に医療と介護の連携、長井西置賜郡医師会と協力を図り、認知症初期集中支援チームを立ち上げ、地域包括支援センターの強化、重層

的支援体制を構築する。

**横根スキー場を小国町の
観光施設・子ども達の
遊び場に**

町長 道の駅は小国町の顔

問 国道に隣接する道の駅は小国町の自慢の施設だが、交通手段のない方には交通環境整備を行い、人の集まる場づくりが必要ではないか。
また、安全安心なスキー場整備には圧雪車の整備、更新の必要性があるのではないか。



圧雪車の維持も課題

答 小国町の観光施設の要として、町民や子ども達、観光客が集まる場として、力を入れていく。高額な圧雪車ではあるが、整備も含め財源確保を検討している。

小林 嘉 議員 ●こばやし よしゆ●



**鳥獣被害対策実施隊員の
出動手当引き上げを**

町長 新年度増額する

問 鳥獣被害対策実施隊は、危険業務でありながら出動手当が低い。引き上げは。

答 現在、報酬は年額とし、職位により3千円から6千円の範囲で条例に定められている。また、出動報償費は1時間当たり275円を支出してきた。今年度当初予算に、報償費を1回の出動につき、クマ、イノシシ8千円、その他鳥獣2千円に引き上げる。また緊急の現地確認は1日2千円を新たに措置した。

「緊急銃猟」には、危険性を考慮し1日当たり最大2万4千円を提案している。

問 事故発生に備え隊員の公務災害補償見直しが必要ではないか。

答 隊員は町の非常勤職員に位置づけられ、活動中の事故による負傷や損害については、「小国町議会議員その他の非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例」に基づいて補償する。

尚、町としては、令和5年6月に創設された「鳥獣被害対策総合補償制度」に継続加入するとともに、緊急銃猟による物損事故は「緊急銃猟時補償費用保険」に加入し不測の事態に備える。



鳥獣の追い払いに向けて

▶ 高校の魅力を語る山科校長



▶ 質疑応答



新春懇話会

新年1月9日、高校留学制度の全国展開が進む中、いかに学校の魅力を発信するかがポイントとなってきた。当町の小国高校のこれまでの実践、今後の活動について山科勝校長先生に講演いただいた。

テーマ

「魅力ある学校で未来を拓く」
小国高校の可能性

講師

山形県立小国高等学校 校長 山科 勝氏

議員表彰

全国町村議会議長会功労者特別表彰

小国町議会議長 安部 春美

置賜地方町村議会議長会自治功労表彰

在職17年以上 小国町議会副議長 遠藤 和彦
小国町議会議員 小林 嘉

在職10年以上 小国町議会議員 間宮 尚江

議会だより
広告募集
有料広告募集中

発行 年4回(約2,900部 2月、4月、7月、10月)

広告料 1掲載あたり6,000円～30,000円

■ 問い合わせ先 議会事務局 (☎0238-62-2448)
gikai@town.oguni.yamagata.jp

がんばってます!!



プロフィール
氏名 舟山 香奈
住まい 宮の台
コスモス寮

- Q** いつから絵を描くようになったのですか？
A コスモス寮に入ってからです。
- Q** 自分の絵がカレンダーになった時の気持ちはどうですか？
A とてもうれしかったです。
- Q** 何色が好きですか？
A 紫、青、緑、黄色、赤、ピンク、水色、茶色です。

Q 毎日、楽しみにしていることは何でしょうか？
A アスモ掃除、さをり織り、山形新聞の帯はります。

Q いつもどこで絵を描いていますか？
A 自分の部屋か、寮のリビングです。

Q 家族旅行ですか？
A 家族旅行です。

Q 好きな食べ物は何か？
A おやつ、肉、野菜です。

Q これからの夢、やってみたいことは？
A 家族旅行です。

目を見張るアート作品です。ありがとうございます。(文責 間宮)



▲コスモス寮での食事



▲お母さんとの「さをり織り」



▲まんまるの作業所の皆さんと

次は6月定例会です
傍聴においでください

編集後記

新生活の喧騒をよそに約束されたかのように小国の山々が、萌黄色に彩られてきました。

山の恵みを食卓に迎えるとき、変わらぬ山の律動に本町の「不変」を感じます。さて、今号より誌面を刷新し、表裏面がカラーになりました。

『何を変えないか』

カラーになっても、その根底にある本質的な眼差しに変わりはありません。誌面を通して、町民皆様と小国の四季の訪れを感じ、共に歩んでいくことであります。今後、軽やかに誌面をめぐっていただけますようお願い一同、努力してまいります。 間宮(記)

発行責任者

議長 安部 春美

副議長 伊藤 弘行

委員長 柴田 伸也

副委員長 石山久美子

委員 間宮 尚江

委員 小関 和好

委員 遠藤 和彦